



「本校からはじまる 本気ではじめる 夢への挑戦」

北海道本別高等学校長 松田 素寛(もとひろ)



始業式、入学式において、生徒たちに「挑戦」という話をしました。何かに挑戦すれば、上手くいくこと、失敗することもあるが、失敗することを恐れていては、経験や成長も得られない。

3年間しかない高校生活、挑戦(チャレンジ)することに意義がある。自らの意思で取り組んで、失敗したなら、なぜ、失敗したのかを考えること、そのことを積み重ねていくことの大切さについて話をしました。

本校は今年、創立80周年記念を迎え、10月2日に記念式典も行われます。十勝管内において帯広柏葉高校と同様に、旧制中学校として開校し、これまで行われた数々の「挑戦」により、部活動や進路において、多くの輝かしい実績があげられています。この伝統を引き継ぐべく、本高(地元での呼称)の生徒たちの「夢への挑戦」に期待をしているところです。

今年度から十勝管内で唯一、第1学年1間口となり、北海道教育委員会から地域連携特例校の指定を受け、新たなステージでこれまでにない教育活動が行われることとなります。1年次から北海道遠隔授業配信センター(略称：T-Base)からの英語や数学のハイレベルな遠隔配信などによる習熟度別学習、全学年への模擬試験とも連動した遠隔講習、学力分析など、「夢は、地元でつかみ取る」充実した進路指導、協力校(帯広柏葉)との生徒会交流や教員研修などが行われます。また、本校独自の、探究活動「とかち創生学」や生徒一人ひとりの将来の夢・希望など実現に向けた個別指導など、間口数の多い学校では行えない教育活動が展開されることとなります。教職員一同、本校が地域から愛され、「行きたい・行かせたい学校」となるよう、教職員一同、教育活動に尽力し参りますので、保護者及び地域の方々の変わらぬご支援をお願いいたします。

本高Topic 《地域連携特例校編 その①》

… 今年度、十勝管内で初めての導入

本別高校が果たしている役割や地域の教育機能の維持向上の観点から、第1学年で1学級の高校で、地理的状況等から再編が困難であり、地元からの進学率が高い高校を「地域連携特例校」と定め、協力校など(帯広柏葉や北海道遠隔授業配信センター)と連携した教育活動[生徒交流や進学指導など]より、充実した教育環境が整えられます。



本別高校の魅力発信

《コミ・スク編 その①》…令和2年度からコミュニティ・スクール導入

本校が「より魅力ある学校」となる教育活動を推進しています。高校と地域が一体となった活動が展開されています。★総合的な探究の時間を「とかち創生学」と命名し、地域の大人が生徒への支援を行う探究コーチの役割を担い、**郷土愛や人材育成**を目指し、地域課題等に取り組む探究活動に取り組んでいます。



←前田農産社
長さんから町
の魅力などイ
ンタビュー



←町の課題検討
本別産豆類 →
を利用したスィ
ーツ商品開発



★★★「夢への挑戦」…生徒会長 廣瀬 乃愛（ひろせ のあ）さん ★★★★★

「夢への挑戦」と題して、本校で活躍している生徒をクローズアップします。第1回目は、3年生 生徒会長の廣瀬乃愛さんへのインタビューです。

■今年度、挑戦したいことは何ですか？

私の今年度の「夢への挑戦」は2つあります。

一つ目は、3年生として最終学年となるので自己の進路を決めることです。将来は医療系の職業に就きたいと考えており、医療系大学への進学を目指しています。ニュースなどでも取り上げられていますが、コロナ禍のためお年寄りなど患者さんが十分な医療など受けられない現状があることや、感染拡大の影響により医療系人材の不足や大変な状況が報道されています。そのような状況を少しでも改善でき、貢献することにやりがいを感じます。また、人とのコミュニケーションを図ることも自分には向いていると感じています。

二つ目には、コロナ禍で学校行事にも制限がかかっています。生徒会長として、本高生が活き活きと活動したり、楽しんだりする活動が行えるよう検討を進めています。

その一つが、今年1月、生徒玄関ロビーに置かれているピアノの活用、「ストリートピアノ」の実施です。週一回、昼休みや放課後、時間を決めて、密にならないように、さらに消毒なども行いながら、生徒会執行部の立ち会いのもと実施しています。私自身もピアノを弾きますが、音楽のある生活は気持ちを穏やかしてくれます。コロナ禍で沈んでいる学校や生徒に元気を与えることができればと思っています。音楽のある生活は潤いも与えてくれます。多くの生徒の皆さんに弾いてもらったり、聴いてほしいと思います。

今後は、昼休みや放課後などいろいろな生徒会行事を企画をしながら、全校生徒77名の生徒が明るく楽しい学校生活が送れるよう頑張りたいと思います。

